

ユナイテッド・オーバーシーズ銀行 (UOBH)

アプリの中に仮想都市を構築するゲームを組み込んだデジタル銀行 TMRW のミレニアム世代への普及を期待

シンガポール | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG UOB:SP | REUTERS UOBH.SI

- 2019/12 通期は、総収益が前期比 10.0%増、当期利益が同 8.4%増。純金利収益、純手数料収益、その他非金利収益ともに増収だった。
- 地域別の税引き前利益は、シンガポール、中国（グレーターチャイナ）、インドネシアが前期比増益。マレーシア、タイが同減益。
- アプリに仮想都市を構築するゲームを組み込んだアセアン初のデジタル銀行 TMRW がミレニアム世代へ普及が進むと期待されよう。

What is the news ?

1/21 発表の 2019/12 通期は、総収益が前期比 10.0%増の 100.30 億 SGD、営業利益が同 8.7%増の 55.58 億 SGD、当期利益が同 8.4%増の 43.43 億 SGD だった。総収益は、①純金利収益が純金利マージンの低下を貸出残高の堅調な伸びが吸収し同 5.5%増の 65.62 億 SGD、②純手数料収益がウエルス・マネジメントとクレジットカード手数料の寄与により同 3.3%増の 20.62 億 SGD、③その他非金利収益がトレーディングおよび投資収益の寄与により同 54.3%増の 14.35 億 SGD だった。総費用は、人材とテクノロジーへの投資強化により同 11.7%増の 44.72 億 SGD。貸倒引当金繰入額は、価値が減損した貸出債権の信用コスト上昇のため同 10.7%増の 4.35 億 SGD。関連会社や合弁企業からの収益は、持分の減少により同 51.9%減の 5,100 万 SGD。不良債権比率 (NPL) は 5 四半期連続で 1.5%となった。

貸出残高は前期末比 2.7%増の 2,690 億 SGD。シンガポールが同 1.5%増となった他は中国（グレーターチャイナ）が同 2.5%増、タイが同 17.6%増と伸びた。地域別の税引き前利益では、シンガポールが同 8.4%増、中国（グレーターチャイナ）が同 19.0%増、インドネシアが同 9.1%増だった一方、マレーシアが同 5.2%減、タイが同 3.9%減だった。セクター別の営業利益では、リテール部門が同 8.3%増、ホールセール・バンキング部門が同 2.7%増、グローバル市場部門が同 42.8%増だった。

How do we view this ?

2020/12 通期の会社見通しは、対顧客収益の利益率の低下や信用コスト悪化といった逆風を予想する一方、ウエルス・マネジメント事業の手数料収益の増加を見込んでいる。同社は 2019/3 にタイでスマホのアプリだけで営業するデジタル銀行の TMRW をアセアンで初めて開業した。スマホアプリの中に仮想都市を構築するゲームを組み込み、預金すればするほど仮想都市を発展させられるゲーム感覚の預金サービス、および SNS をヒントに組み込んだチャット機能など、モバイル・オンリーのミレニアム世代をターゲットとしている。2020 年にはインドネシアでも開業予定である。同社はアセアンにおけるデジタル銀行の市場規模を 100 億 SGD と見ており、TMRW が業績拡大の原動力になると期待されよう。

2020/12 通期市場予想は、当期利益が前期比 16.8%減の 36.13 億 SGD。

業績推移

※参考レート 1SGD=75.73円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
当期利益(百万SGD)	3,390	4,008	4,343	3,613	3,833
EPS (SGD)	1.98	2.33	2.54	2.11	2.29
PER (倍)	10.06	8.55	7.84	9.44	8.69
BPS (SGD)	20.37	21.31	22.33	23.53	24.68
PBR (倍)	0.98	0.93	0.89	0.85	0.81
配当(SGD)	0.80	1.00	1.10	1.14	1.21
配当利回り(%)	4.02	5.02	5.52	5.73	6.08

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD)	1.14	(予想はBloomberg)
終値(SGD)	19.91	2020/4/20

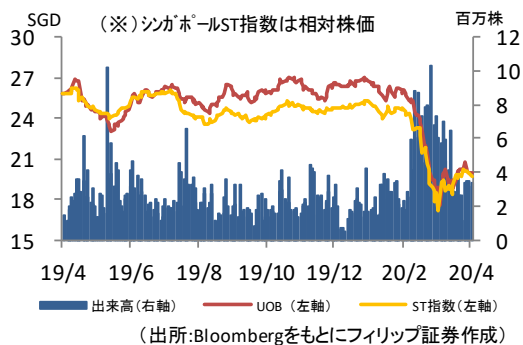
会社概要

1935年設立のシンガポールに本社を置く銀行。当初は福建省のコミュニティ向け「ユナイテッド・チャイニーズ銀行」として設立されたが、買収などを通じて国際的な金融機関となり、現在はアジア太平洋地域、西ヨーロッパ、北米の19の国と地域に500以上のオフィスを持つ。ムーディーズの格付けがAa1、S&Pとフィッチ・レーティングの格付けがAA-と、世界のトップバンクの1つに位置付けられている。

資産運用を担うUOBアセットマネジメントは、シンガポールで最も高い地位を誇るファンドマネージャーの1つである。グループ傘下には、シンガポールのファースタン銀行、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(マレーシア)、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(タイ)、PTバンク UOB インドネシア、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行(中国)等があり、東南アジア全域で活動を展開している。

企業データ(2020/4/21)

ベータ値	1.11
時価総額(百万SGD)	33,196
企業価値=EV(百万SGD)	-
3か月平均売買代金(百万SGD)	93.5



主要株主(2020/4)

	(%)
1. Wee Investments PTE LTD	8.01
2. Wah Hin & Co PTE LTD	5.16
3. Vanguard Group	2.43

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>